

SDGs未来都市 石川県野々市市 (2023年)

市民一人ひとりのサステナブルスキルや経験をデジタル証明として可視化する「**オープンバッジ制度**」の導入と、**デジタルツールの活用**によるデータとまちづくりデザインを通じた市民協働でまちづくりを行う仕組みの構築を通じて**若者を中心とした市民が一体となってまちづくりを行う社会の実現**を目指す。

● オープンバッジ制度の導入

市民がサステナブルスキルを積極的に身につけるための仕掛けとして「**オープンバッジ制度**」を導入し、SDGsワークショップの参加歴・指導歴等に基づき、企画者、指導者、実践者、参加者、応援者のバッジを付与する。

● デジタルツールの活用

市民がまちづくりに主体的に参加することができる環境を整備するために**デジタルツールを活用**し、2030年のあるべき姿に向けた目的の共有・見直しや、まちづくりデザインを市民と協働で行うことができる仕組みを構築する。

- 市内でのSDGsの取組の推進
- 市民一人ひとりの持続可能な社会に対する意識の向上

- 市民がまちづくりに参加することができる環境の整備
- 市への誇りや愛着の醸成

若者を中心とした市民が一体となってまちづくりを行う社会の実現